

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

## 植物プランクトン

昭和56年5月26日 第8報

(綱) 種 名	細胞数 (群体系数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *	20		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	9300	◎	○
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i>	80		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	260		
(珪) <i>Synedra acus</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	60		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	560	○	
(緑) <i>Hormidium</i> sp.	20		
(緑) <i>Golenkinia</i> sp.	20		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	40		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	360		◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	60		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	20		
(他) その他の植物プランクトン	20		
(藍) 藍藻綱	20	0.2	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	9300	85.0	16.1
(珪) 珪藻綱	520	4.8	4.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	560	5.1	6.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	520	4.8	73.5
(他) その他のプランクトン	20	0.2	0.0
総細胞数	10940	総体積	1.49E+07
種類数	16	( $\mu\text{m}^3$ )	

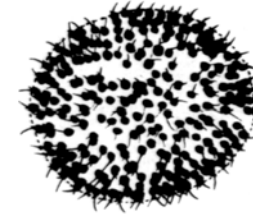
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体系数(群体系数/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
黄色鞭毛藻綱	<i>Uroglena americana</i>	9300

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Cryptomonas</i> sp.	560

### 植物プランクトン第1優占種



***Uroglena americana***  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻綱

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

### 植物プランクトン第2優占種



***Cryptomonas* sp.**  
(クリプトモナス)  
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。